

事務事業名	結婚相談事業		所属部局	市民部	単位番号	2014- 900125				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課	課長名	浅利 澄子				
			所属担当	市民協働・自治会	担当者名	清水 学				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	06	安全な環境づくり	事業区分	01	一般	02	01	13	010	04
施策	11	安心できる市民生活の実現		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金				
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 結婚を希望する者に対し、結婚に関する情報提供及び相談事業を行い、本市の少子化対策に寄与する。 ・結婚相談所の設置 ・婚活イベントへの支援	事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)		項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
	報償金		357		研修等参加負担金					
	講師謝礼		0		その他負担金					
食糧費		34		その他保険料		0				
その他委託料		150		計				541		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	結婚相談、婚活イベントへの支援	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	結婚相談、婚活イベントへの支援			ア 結婚相談の実施日数	日
					イ 支援した婚活イベント数	イベント
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	独身の男女		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 結婚相談所に登録した人	人
					イ 婚活イベントに参加した人	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	カップルが成立している又は結婚している		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア カップル成立数	カップル
					イ 結婚したカップル数	カップル
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	少子化の解消		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 未婚率	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円			541	812	812	812		
		事業費計(A)	千円	0	0	541	812	812	812		0
	人件費	正規職員従事人数	人			2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間			150	150	150	150		
		人件費計(B)	千円	0	0	683	683	683	683		0
		(A)+(B)	千円	0	0	1,224	1,495	1,495	1,495		0
	活動指標	ア	日			11.0	11.0	11.0	11.0		
		イ	イベント			1.0	3.0	3.0	3.0		
	対象指標	ア	人			33.0	33.0	33.0	33.0		
		イ	人			27.0	60.0	60.0	60.0		
	成果指標	ア	カップル			2.0	6.0	6.0	6.0		
		イ	カップル			0.0	0.0	0.0	0.0		
	上位成果指標	ア	%								
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市社会福祉協議会が運営している結婚相談事業が、平成25年度末をもって終了しことから、平成26年4月から同事業を市が引き継ぎ実施することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	現代の若者たちのライフスタイルをみると、従来からのお見合い形式の婚活から、テーマ別のパーティーやイベント形式の婚活にシフトしている。結婚相談所への登録者の増加は見込めない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市議会などから、未婚化や晩婚化の解消、少子化対策に取り組むべきとの指摘がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	婚活イベントが協働事業として実施できるよう、市民や市民団体等に周知した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	ユネスコエコパークの理念に基づく婚活イベントとして協働事業として実施した。

事務事業名	結婚相談事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	--------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 事業の主たる目的が「少子化対策」であることから、政策体系との整合性の見直しが必要である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 婚活イベントについては、市民等との協働事業として取り組む意義はあるが、民間でも盛んに婚活イベントやパーティーが開催されている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 今年度からの新規事業であるが、少子化対策に有効な施策であるか否か来年度に向けた見直しが必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 婚活イベントの実施方法を見直せば、向上する余地はある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 当事業の事業費は、結婚相談員の報償金と婚活イベントの支援金がほとんどを占めていることから、イベントへの支援を廃止しない限りこれ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 結婚相談所の設置を見直せば事業費を削減することは可能だが、まだ今年度が初年度であり相談員(二年任期)を削減することはできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 結婚できるかできないかは本人の考え方や、ライフスタイルに関係するところが大きい。また、ほとんどの市民等は税金を投入しなくても結婚していることから、公平性にかける施策である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①結婚相談所の運営については、1対1のお見合い形式である。登録者を対象としたイベントを実施するなど発想の転換と運営方法の見直しが必要である。 ②婚活イベントへの支援は少子化対策や定住化の促進等をキーワードに企画を募っているが、市が税金を使って行う事業として様々な制約があることから、市民等からなかなか応募がないのが現状である。事業効果も含めて再検討が必要である。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
①相談員の考え方と市の方針との調整 ②婚活イベントへの市としての関わり方の再検討	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					